

1. 地域農業の状況

- 観音寺市豊浜町和田地区は県西部に位置しており、温暖な気候を活かして、日本なしやかんきつ、レタス、たまねぎ等の様々な品目が栽培されている。



- 特に、日本なしについては、県内生産量の8割を占める県内随一の産地であり、栽培面積は約28haである。
当地区の日本なしは消費者からの知名度も高く、「ホウナンの梨」ブランドを確立しており、直売所には近隣県からも客が訪れるなど需要が年々高まっている。

- 一方で、生産者の高齢化や後継者不足などにより荒廃農地が増加しつつあり、生産量が減少したり、周辺農地の病害虫被害の発生要因となっている。

産地の維持発展のためには、荒廃農地の再生と担い手による経営規模拡大が求められている。



日本なし



直売所の様子

2. 地区概要

取組主体 農業者2名(個人)

再生面積 0.59ha

作付作物 日本なし、かんきつ

地区名 和田地区

取組年次 平成29年9月～令和5年12月

販路 J A、直売所等に出荷

3. 取組内容及び効果

担い手による荒廃農地の再生と経営規模拡大で産地の維持発展へ

- 平成29年度から令和3年度にかけて、**産地の認定農業者であるO氏が、近隣の荒廃農地を順次借受けて農地の再生作業を実施し、日本なし及びかんきつの栽培を開始した。**
- **日本なしでは、省力栽培技術である樹体ジョイント仕立てを採用することで経営規模拡大を実現した。かんきつにおいては、温暖化に対応した品種を採用し、高品質果実の生産を実現した。**
- これにより、産地の生産量の維持につながるとともに、適切な管理作業を行うことで、周辺農地での病害虫被害が減少した。
- また、この取り組みが**近隣の若手生産者にも広がり、令和5年度にはK氏が荒廃農地の再生作業を実施し、かんきつを植栽した。**こういった動きは今後も拡大する見込みであり、地区の活性化につながることが期待される。



荒廃農地解消前



解消後(なしの樹体ジョイント仕立て)

活用した
支援策

H29～H30 荒廃農地等利活用促進交付金(国)
R2～R3 荒廃農地等利活用促進事業(県)
R5 遊休農地等利活用促進事業(県)